

# 静岡市一般廃棄物処理基本計画【概要版】

～「もったいない」で未来へつなげる循環型都市しずおかの創造～

<計画期間>

計画初年度  
令和5年度

中間目標年度  
令和8年度

最終目標年度  
令和12年度



ごみ減量  
啓発キャラクター  
しずもちゃん

## 一般廃棄物処理基本計画ってなに？

一般廃棄物処理基本計画では、一般廃棄物の減量化・資源化や、適正な処理を推進するための基本的な方針を示しています。

本計画は、「ごみ処理基本計画」と「生活排水処理基本計画」の二つで構成されています。本計画に基づき、施策を推進していくことは、持続可能な開発目標（SDGs）が目指す未来の実現につながっていきます。

特に本計画と親和性が高い  
4つのゴール

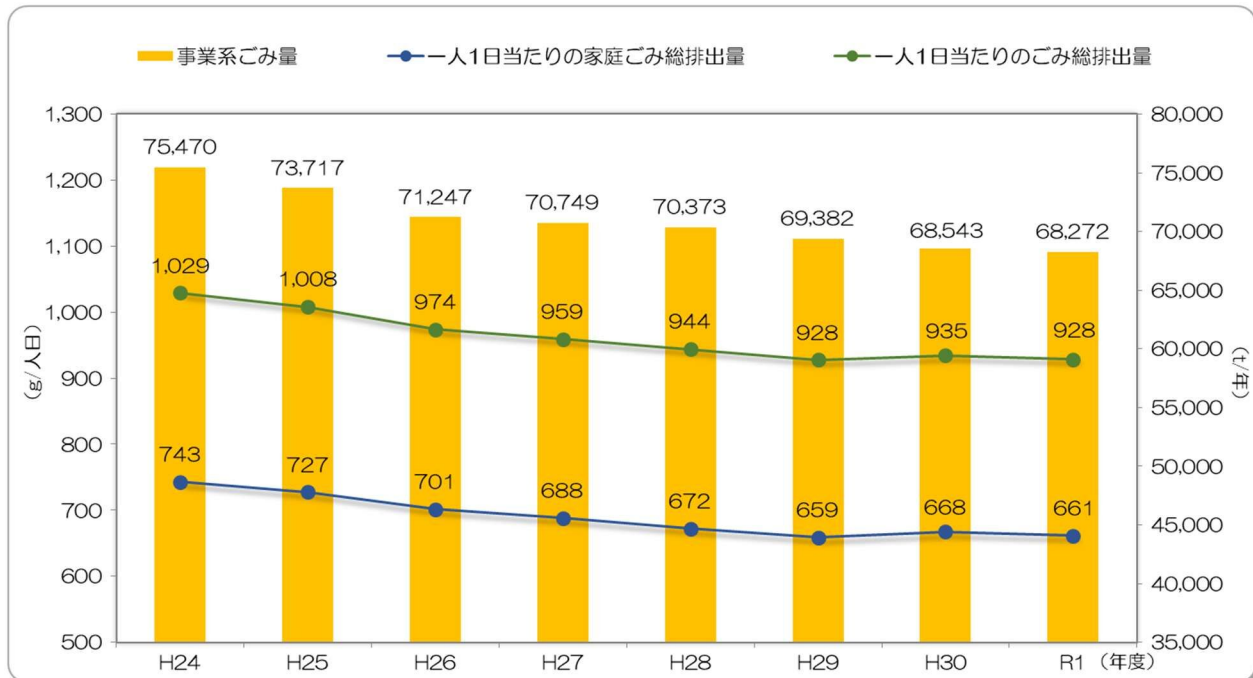


## ごみ処理基本計画

### ごみ処理の現状

ごみ排出量の推移

※ごみ総排出量 = 家庭ごみ総排出量 + 事業系ごみ量



上記のとおり、本市のごみ量はH24からH29までは順調に減少してきましたが、H30以降は家庭ごみも事業系ごみも横ばい傾向にあります。市民、事業者、市の3者が連携したごみ減量への取組がさらに必要です。



# 基本理念

## 【基本理念】

### 「もったいない」で未来へつなげる循環型都市しずおかの創造

#### 基本方針1

#### すべての人で取り組む4R

市民・事業者とのパートナーシップを充実させ、すべての人で取り組む4Rを「もったいない運動」として推進していきます。

#### 基本方針2

#### 持続可能な廃棄物 適正処理体制の確保

安定的な廃棄物処理を実施するとともに、既存施設の延命化などについて、費用対効果なども踏まえた効率的な事業体制の確保を図ります。

フォー  
**4** アール  
**R** とは

**R** リフューズ  
efuse (発生抑制)  
そもそもごみとなるものを  
もらわない・断る、作らない。

**R** リデュース  
educe (排出抑制)  
ごみを出さない。

**R** リユース  
euse (再使用)  
まだ使えるものは再使用する。

**R** リサイクル  
ecycle (再生利用)  
不用となったものを資源に戻し、  
原材料として利用する。

▼沼上清掃工場



▼西ヶ谷清掃工場





# ごみ処理の新しい目標

一人1日当たりのごみ総排出量を、令和元年度比で、145g減量することを目指します！

現状  
令和元年度  
928g

目標  
令和12年度(2030年度)  
783g

## 個別目標

### 家庭ごみの目標

(一人1日当たりの家庭ごみ総排出量)

現状

令和元年度(2019年度)  
一人1日当たり、661g



71g削減(11%削減)

中間  
目標

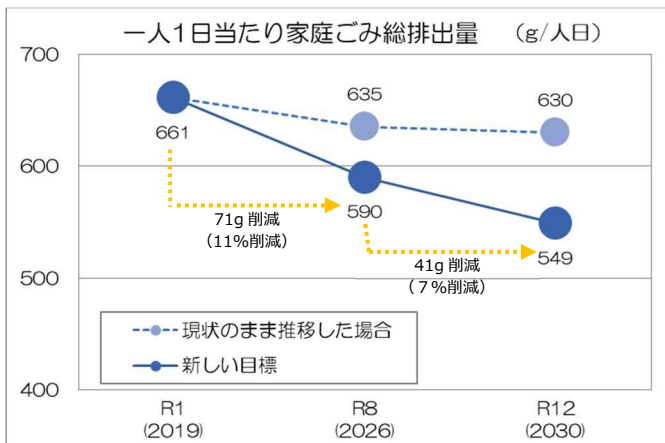
令和8年度(2026年度)  
一人1日当たり、590g



41g削減(7%削減)

最終  
目標

令和12年度(2030年度)  
一人1日当たり、549g



### 事業系ごみの目標

(事業系ごみ量)

現状

令和元年度(2019年度)  
68,272 t



8,255t削減(12%削減)

中間  
目標

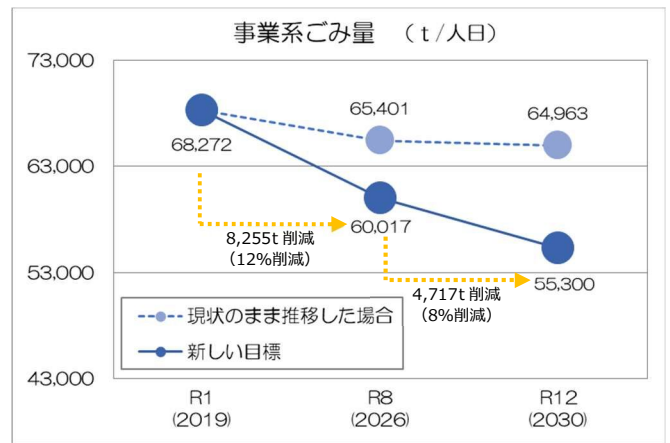
令和8年度(2026年度)  
60,017 t



4,717t削減(8%削減)

最終  
目標

令和12年度(2030年度)  
55,300 t



## 静岡版「もったいない運動」の推進

『「もったいない」で未来へつなげる循環型都市しずおかの創造』を実現するためには、市民及び事業者が積極的に4Rの推進に取り組むことが必要です。これに対し、本市は積極的な情報提供と支援を行い、市民・事業者との強力なパートナーシップを構築して、未来へつなげる循環型の都市を目指します。

また、4Rの取組の中でも、特にすぐにごみになるものはもらわない、断る、作らないという「発生抑制（Refuse リフューズ）」に重点を置いて各種施策を展開しています。

### 家庭ごみの減量化・資源化に向けて市民一人ひとりが取り組むべき行動例

- ◇ 買い物の際は、マイバッグを活用しレジ袋を断る！
- ◇ マイボトル・マイタンブラー・水筒などを持参する！
- ◇ 集団回収や事業者の自主回収へ協力する！
- ◇ 余った食べ物は捨てるのではなく  
フードバンクへ寄付する！



マイバッグの活用



マイボトル等の持参



フードバンクへの  
寄付

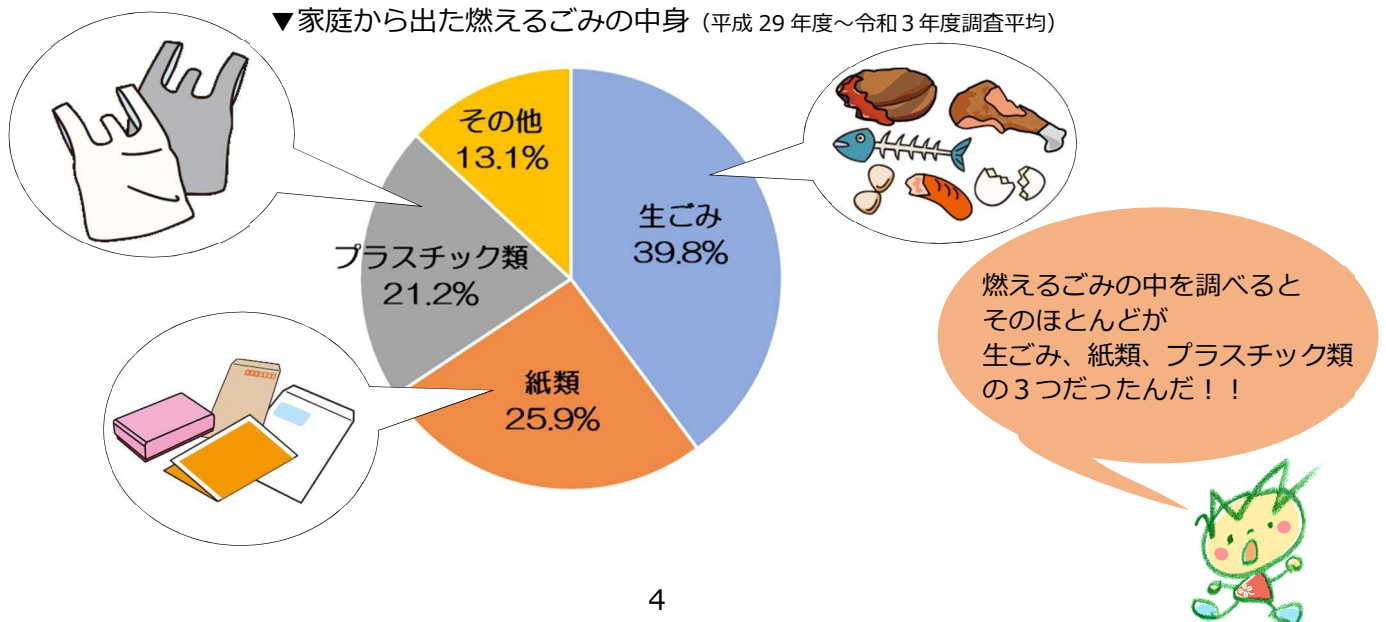


事業者の自主回収  
への協力

## 家庭ごみの内容

静岡市では家庭から出た燃えるごみの組成調査を毎年実施しています。家庭から出た燃えるごみの9割近くを生ごみ、紙類、プラスチック類が占めています。この3つのごみ量を減らすことが、静岡市全体のごみを減らすことにも重要です。本計画も、この3つのごみ量を減らすことに重点を置いて策定しています。

▼家庭から出た燃えるごみの中身（平成29年度～令和3年度調査平均）





## 家庭ごみを減らすための取組 その1

### 生ごみ

燃えるごみの中で一番多い生ごみ。

食べ残しや、手つかず食品など、多くの「食品ロス」が発生しています。日本における「食品ロス」の年間発生量は522万トン（令和2年度）もあり、これは国民一人ひとりが毎日お茶碗1杯分のご飯を捨てていることと同じです。



▲ごみ袋から出てきた「食品ロス」

生ごみを減らすために・・・

### 市民の役割 「3切り」を実践！

#### 食材の使い切り

- ◇買い物に行く前に、冷蔵庫の中身をチェック。  
余分なものを買わないようにする！
- ◇あまった食材は冷凍保存するなど、保存の仕方も一工夫する！



#### 食品の食べ切り

- ◇好き嫌いをしないで、ごはんを食べ切る！
- ◇残ってしまったら、みんなでシェアして食べ切る！
- ◇おうちにあるけど食べない食品はフードバンクに寄付しよう！



#### 生ごみの水切り

- ◇生ごみには水分がたくさん含まれています。  
生ごみは捨てる前にぎゅっとひと絞り！



### 市の役割

- 出前講座やイベントを通じて、「3切り」の実践方法を市民へ伝えていきます。
- 燃えるごみに含まれる食品ロスの割合を定期的に調査し、食品ロス削減に向けた啓発を強化します。
- フードドライブキャンペーンを開催します。

### もってこ 「ドギーバッグ (mottECO)」の推進

日本で発生する食品ロスの約6割が食べ残しだと言われています。食べ残しを減らす取組の一つとして、ドギーバッグ (mottECO) の活用があります。飲食店で注文し食べることが出来なかった際にそのまま残してしまうのではなく、持ち帰ることで食べ残しが減り食品ロス削減にも繋がります。





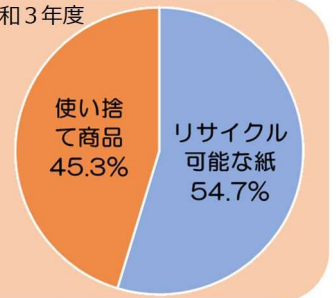
## 家庭ごみを減らすための取組 その2

### 紙類

燃えるごみの中で2番目に多い紙類。

鼻をかんだティッシュや紙おむつなどの使い捨て商品が半分ほどを占めていますが、残りの半分は、まだ資源としてリサイクル可能な紙がごみとして捨てられてしまっています。

平成29年度～令和3年度  
調査平均



紙ごみを減らすために・・・

### 市民の役割 紙類の分別を徹底！

- ◇新聞や雑誌だけでなく、リサイクルできる「雑がみ」をしっかり分別！
- ◇分別した雑がみは紙袋に入れるか、紙ひもでしばって資源回収へ出そう！

#### ▼雑がみの例



### 市の役割

- 出前講座やイベントを通じて、身の回りにある「雑がみ」を紹介し、分別の徹底を呼びかけます。
- 奨励金の交付を通じて、集団資源回収活動等がより活発に行われるよう支援します。



## 家庭ごみを減らすための取組 その3

### プラスチック類

プラスチックごみ問題、気候変動問題などを契機として、国内におけるプラスチック資源循環を促進する重要性が高まっています。こうした背景から、令和4年4月より、プラスチックのライフサイクル全体で資源循環を促進する「プラスチック資源循環法」が施行されました。2050年までに魚の総重量を上回るプラスチックが海洋に流出すると予測されており、海洋環境を守っていくためにも、プラスチックごみの発生を抑制していく必要があります。



### 市民の役割 発生抑制に取り組む！

プラスチックごみを減らすために・・・

- ◇買い物の際はマイバッグを持っていき、レジ袋を断る！
- ◇詰め替え用商品や紙製容器包装を選択する、マイボトル・マイタンブラー・水筒などを持参するなど、環境への負荷を低減する行動を実践しよう！

### 市の役割

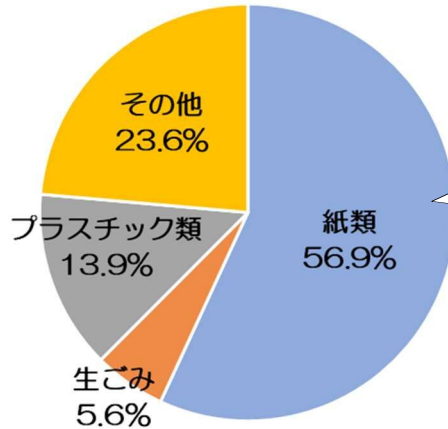
- 出前講座やイベントを通じて、プラスチックによる海洋汚染の状況を伝えるなど、市民のごみ発生抑制意識の醸成を促進します。
- 現在可燃ごみに分類しているプラスチックごみについて、分別収集の実施を前提とした検討を開始します。





## 事業系ごみを減らすための取組

▼事業所から出たごみの中身（令和4年度調査）



事業ごみの中身を調べたら、紙類がたくさん入っていることが分かったんだ！

### 事業系ごみ

家庭ごみとは別に、お店や会社から出るごみを事業系ごみといいます。事業系ごみには紙類が非常に多く、資源化を進めていく必要があります。また、産業廃棄物であるプラスチック類などの不適正排出も問題になっています。

事業系ごみを減らすために・・・

### 事業者の役割

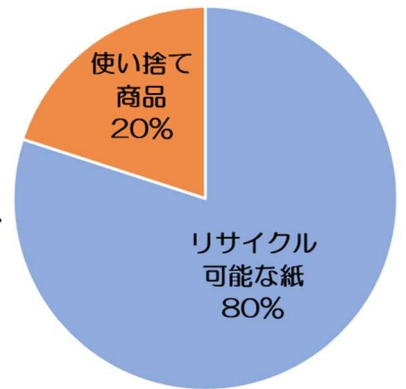
#### 事業系の紙ごみを減らすため、紙類の分別・資源化を行う！

令和4年度調査

- ◇事業所から出る紙類の多くは、リサイクル可能な紙が占めています。リサイクルできる紙類の分別・資源化を徹底します。

#### 環境に配慮した製品・仕組みづくりに取り組む！

- ◇ごみそのものを発生させない製品の開発や販売、製品や容器がリユース・リサイクルされやすいような仕組みの整備、販売した商品で使用後にリユース・リサイクル可能なものの自主回収などに努めます。



### 市の役割

- 清掃工場において搬入調査を実施し、紙類のリサイクルルートへの誘導や適正排出の指導を行います。
- 静岡市には、従業員数の少ない、中小規模の事業所が多くあります。これらの事業所にも適正排出・分別を呼びかけるため、関係団体を通じて啓発チラシの配布や会報誌への記事掲載を行います。
- 事業系ごみを家庭ごみと一緒に排出するなど、不適正排出が発生しています。集積所に出された不適正排出物の取り置きや、開封調査により排出者が判明した場合には適正処理を指示するなど、不適正排出を減らすための指導を行います。
- 民間事業者によるリサイクルルートの活用を推進します。





# 生活排水処理基本計画

## 【基本理念】

### 環境負荷の少ない快適な水環境の推進

#### 基本方針1 合併処理浄化槽の 設置等の促進

下水道事業計画区域外について、合併処理浄化槽の設置等を推進します。

#### 基本方針2 し尿・浄化槽汚泥の 適正かつ効率的な 処理体制の整備

処理施設を安定的に運転するとともに、適正かつ効率的な処理体制の整備を進めていきます。

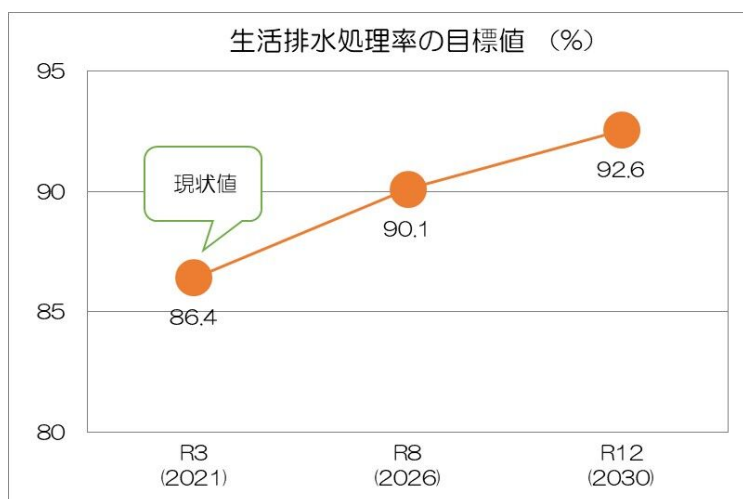
#### 基本方針3 公共下水道の推進

下水道事業計画区域内について、公共下水道の整備を推進します。

## 【目標】

### 生活排水処理率の向上

※生活排水処理率 = (公共下水道人口 + 農業集落排水施設人口 + 合併処理浄化槽人口) / 静岡市の人口



現状

令和3年度(2021年度)  
生活排水処理率 86.4%

3.7%向上!

中間  
目標

令和8年度(2026年度)  
生活排水処理率 90.1%

2.5%向上!

目標

令和12年度(2030年度)  
生活排水処理率 92.6%

## 目標達成に向けた取組

生活排水処理率の向上を図るため、し尿くみ取り世帯、単独処理浄化槽世帯に対して速やかな切替えを呼びかける必要があります。



#### 合併処理浄化槽の設置促進

地元説明会の開催や、臨戸訪問を実施し、補助制度などの情報を提供します。



#### 公共下水道への接続の促進

新規供用区域における早期臨戸訪問、従前からの未接続世帯に対する臨戸訪問や文書勧告を実施します。